

平成28年度

国土交通省関係
熊本地震復旧等予備費使用の概要
(6月28日閣議決定)

国 土 交 通 省

国土交通省関係 熊本地震復旧等予備費使用概要 (6月28日閣議決定)

平成28年度予備費使用については、平成28年熊本地震により災害を受けた施設に係る以下の経費を計上。

1. 国が施行する河川等災害復旧事業及び熊本県が施行する災害関連緊急砂防事業に要する経費
2. 官庁施設の復旧に要する経費
3. 鉄道施設の復旧調査に要する経費
4. 道路等について、国が実施する点検・調査等に要する経費
5. 河川等について、国が施行する河川堤防の修繕等に要する経費
6. 港湾施設について、国が実施する健全度調査に要する経費

熊本地震復旧等予備費使用額

169億円

○公共土木施設等の災害復旧等事業	139億円
○被災地域における道路等の点検・調査等の実施	30億円

※は公共事業関係費。

1. 公共土木施設等の災害復旧等事業

(1) 河川等災害復旧事業

国費 7,505百万円

緑川、白川等において河川堤防等に損傷や変状が生じた箇所の災害復旧事業を実施。

(2) 道路災害復旧事業

国費 1,018百万円

国道3号、国道208号において路面沈下、橋梁損傷等の災害復旧事業を実施。

(3) 災害関連緊急砂防事業

国費 1,995百万円

山王谷川2地区、芝原川地区、車帰川1地区等の6箇所において災害関連緊急砂防事業を実施。

(4) 官庁施設災害復旧事業

国費 3,155百万円

熊本第3地方合同庁舎等の官庁施設について、災害復旧事業を実施。

(5) 鉄道施設災害復旧調査

国費 201百万円

著しい被害が発生した南阿蘇鉄道について、土木構造物や周辺の地質に関する調査を実施した上で、復旧方法を検討。

2. 被災地域における道路等の点検・調査等の実施

(1) 道路の詳細点検・調査、再度災害防止対策等

☐ 国費 670百万円

熊本県の国道3号と国道57号、大分県の国道210号における道路の詳細点検・調査、再度災害防止対策等を実施。

(2) 直轄河川の緊急的な災害対策等

☐ 国費 2,263百万円

緑川及び白川において、河川堤防等の修繕及び河道内の堆積土砂の撤去等を緊急的に実施。

(3) 港湾施設の健全度調査

☐ 国費 87百万円

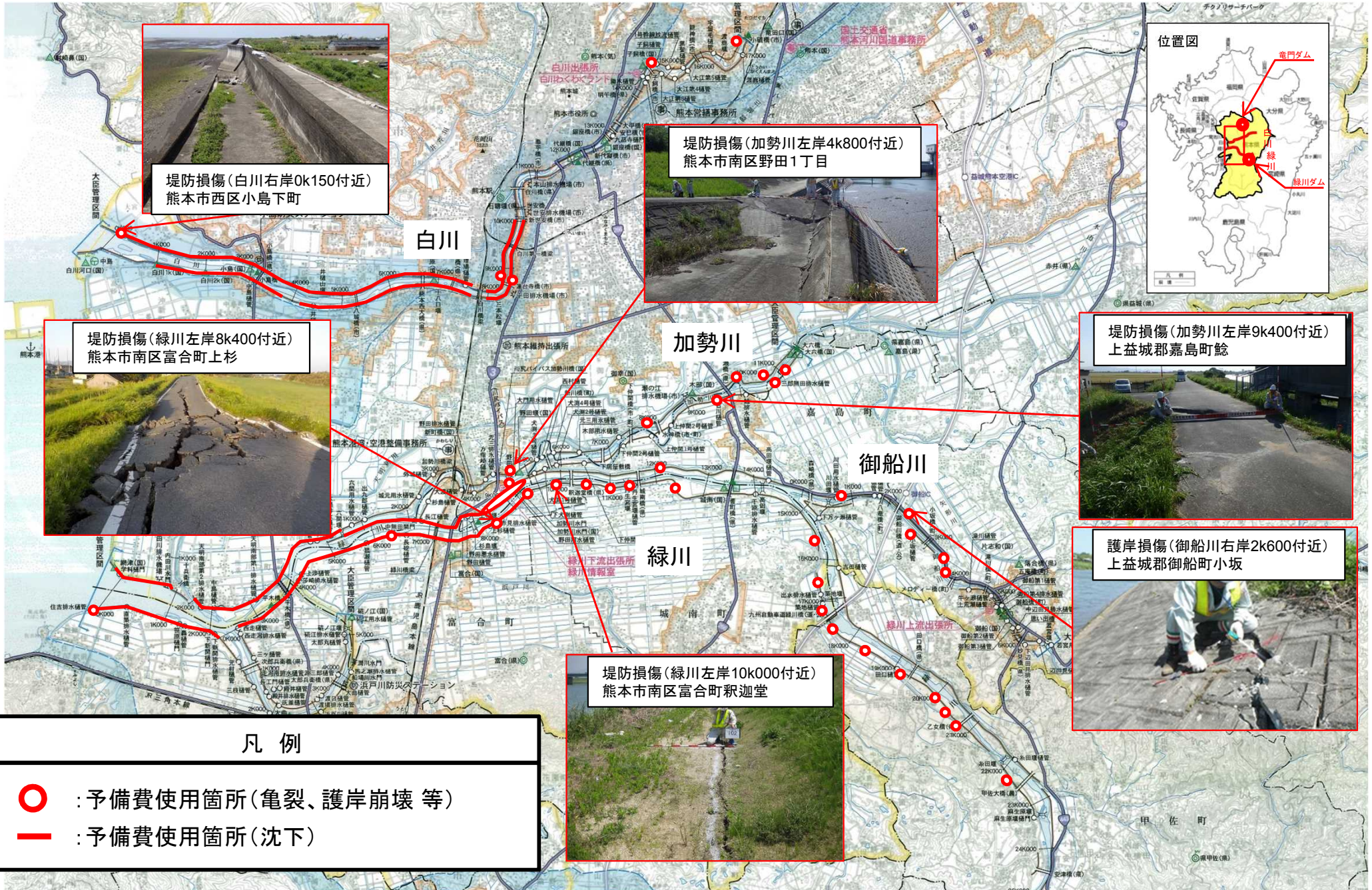
熊本港、八代港の主要な港湾施設において健全度調査を緊急的に実施。

事業別内訳

(単位:百万円)

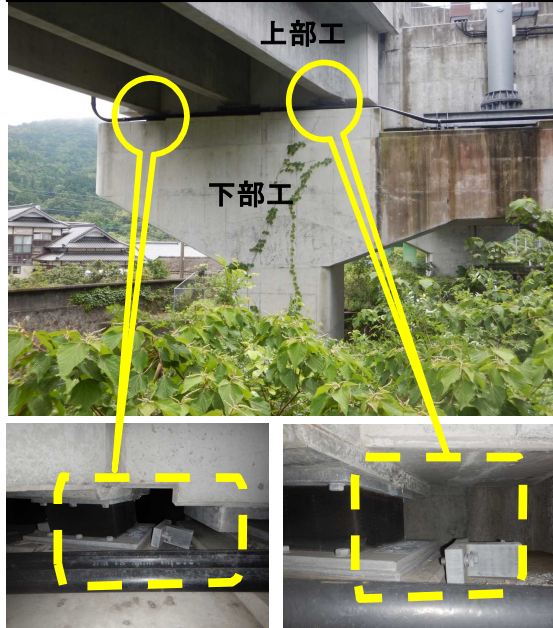
事業名	国費
河川等災害復旧事業	
直轄	
緑川水系緑川(熊本県熊本市等)	3,781
緑川水系加勢川(熊本県熊本市等)	403
緑川水系御船川(熊本県上益城郡御船町等)	1,075
白川水系白川(熊本県熊本市)	2,161
竜門ダム(熊本県菊池市)	57
緑川ダム(熊本県下益城郡美里町)	27
道路災害復旧事業	
直轄	
一般国道 3号(熊本県八代郡氷川町等)	991
一般国道 208号(熊本県玉名市)	27
災害関連緊急砂防事業	
補助	
砂防	
山王谷川2(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)	800
東下田川2(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)	378
芝原川(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)	333
東下田川1(熊本県阿蘇郡南阿蘇村)	123
花原川1(熊本県阿蘇市)	168
車帰川1(熊本県阿蘇市)	193
官庁施設災害復旧事業	
熊本第3地方合同庁舎	331
熊本地方合同庁舎	365
三角港湾合同庁舎	105
熊本県警察学校	169
熊本地方検察庁	80
熊本空港CIQ庁舎	14
税務大学校熊本研修所	1,943
熊本東税務署	73
土地改良技術事務所庁舎	75

○緑川、白川等において河川堤防等に損傷や変状が生じた箇所の災害復旧事業を実施。

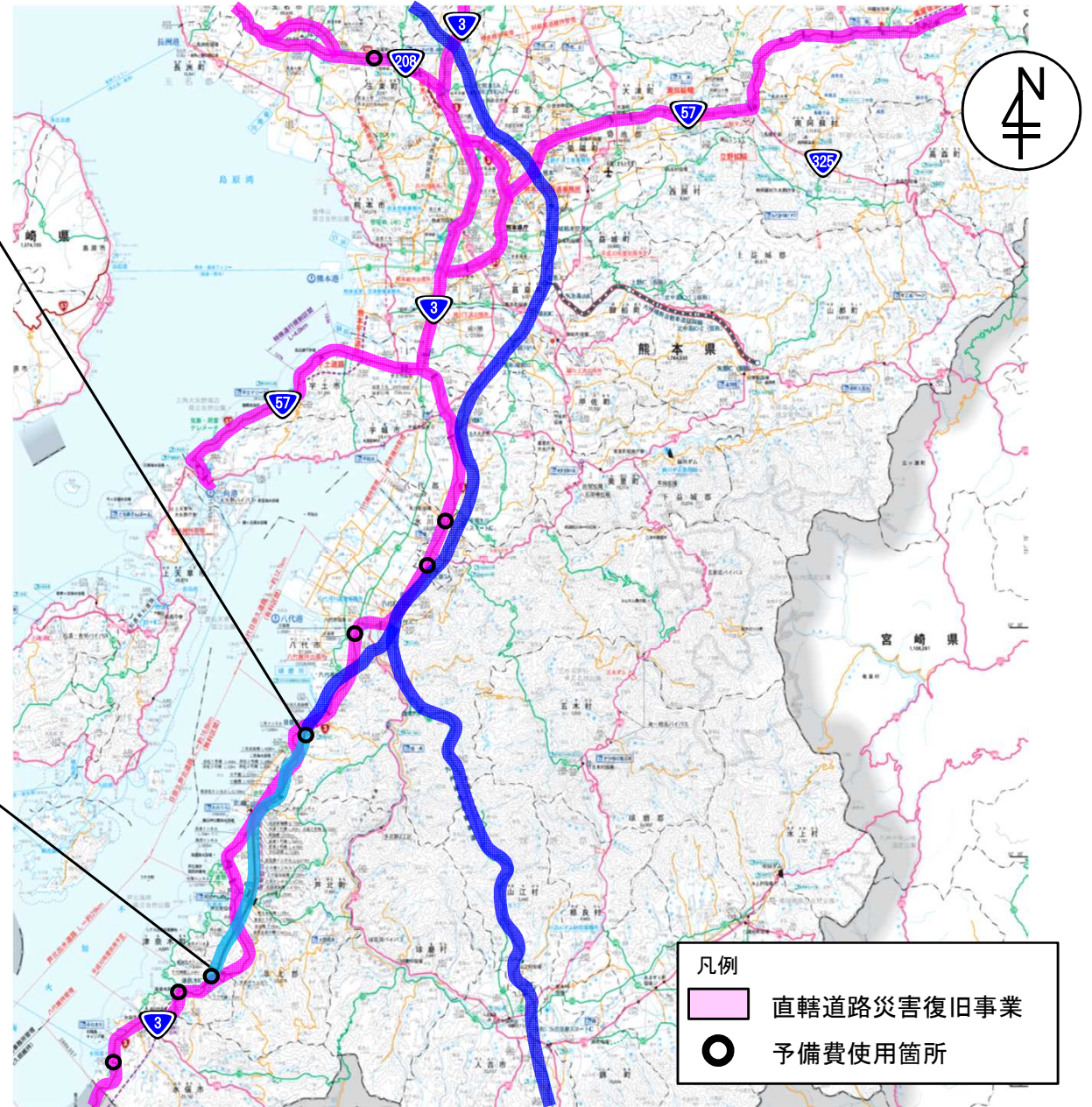


○国道3号、国道208号において路面沈下、橋梁損傷等の災害復旧事業を実施。

国道3号 やつしろ ひなぐへいせい まち
八代市日奈久平成町
(白奈久高架橋) 変位制限構造損傷



国道3号 あしきた つなぎ まち
韋北郡津奈木町
路面沈下、ひびわれ





○ 官庁施設の災害復旧

熊本地震により被災した官庁施設について、災害復旧事業を実施。

○ 熊本県警察学校

躯体・仕上げ破損、舗装沈下、塀倒壊 等



内壁クラック

ブロック塀倒壊

○ 熊本第3地方合同庁舎

躯体・仕上破損、舗装破損 等



躯体破損、仕上剥落

タイル剥落

○ 熊本地方合同庁舎

外壁クラック、内装破損、配管破損 等



配管の破損による漏水

内装ボード剥落

○ 税務大学校熊本研修所

躯体・仕上げ損壊、設備配管損傷 等



建物の変形（たわみ）

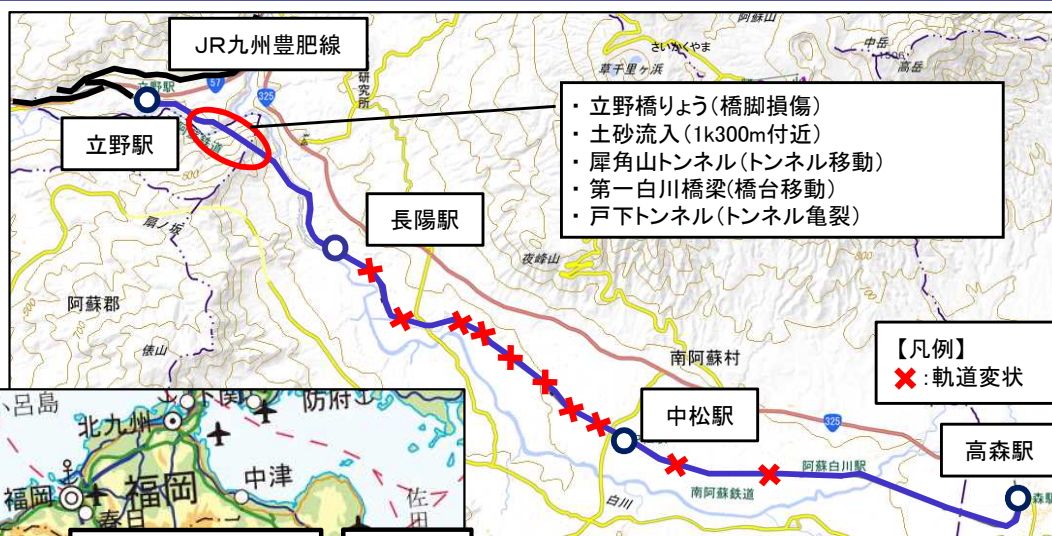
基礎の損壊

柱の破損

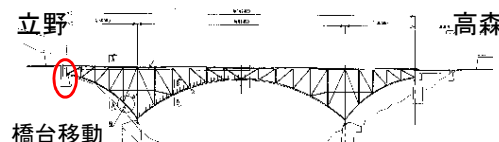
凡例

○ 予備費使用箇所

- 南阿蘇鉄道では、今回の熊本地震により地山全体が大きく動いたため、トンネルや渓谷に架かる橋りょうが移動・変形する等、鉄道施設に著しい損傷が発生。
- このため、単なる損傷部分の補修ではなく、今後の地山の動きなど地質・地盤の調査やトンネル・橋りょうの損傷状況の調査をした上で復旧方法を検討するとともに、今後の持続的な事業運営のための鉄道施設の保有のあり方についても検討することが必要であり、今般の熊本地震復旧等予備費を活用して、これらの検討調査に必要な経費を措置するもの。



※この背景地図等のデータは、国土地理院の電子国土webシステム から配信されたものである。



【橋りょうの損傷】



【山ごと移動したトンネル】



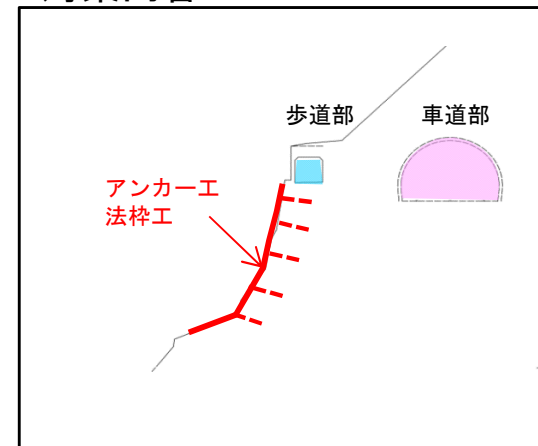
被災地域における道路の再度災害防止対策

○熊本地震における被災箇所について、再度災害防止対策を迅速に実施し、利用者の安全・安心を確保する。

被災状況



対策内容



被災地域における道路の構造物等詳細点検・調査

○熊本地震における被災地域において、詳細な点検・調査を行い道路の構造物等の健全性を把握する。

路面下空洞調査

- 一次調査
 - ・電磁波レーダ探査車などを用いて調査
 - ・取得したレーダ信号を解析して空洞の可能性のある異常信号を抽出
- 二次調査
 - ・一次調査により空洞の可能性のある箇所について、詳細調査を実施



道路構造物点検

橋梁



- ・鋼部材の亀裂、破断等
- ・コンクリート部材のひび割れ、床版ひび割れ等
- ・支承の破損、機能障害等

トンネル



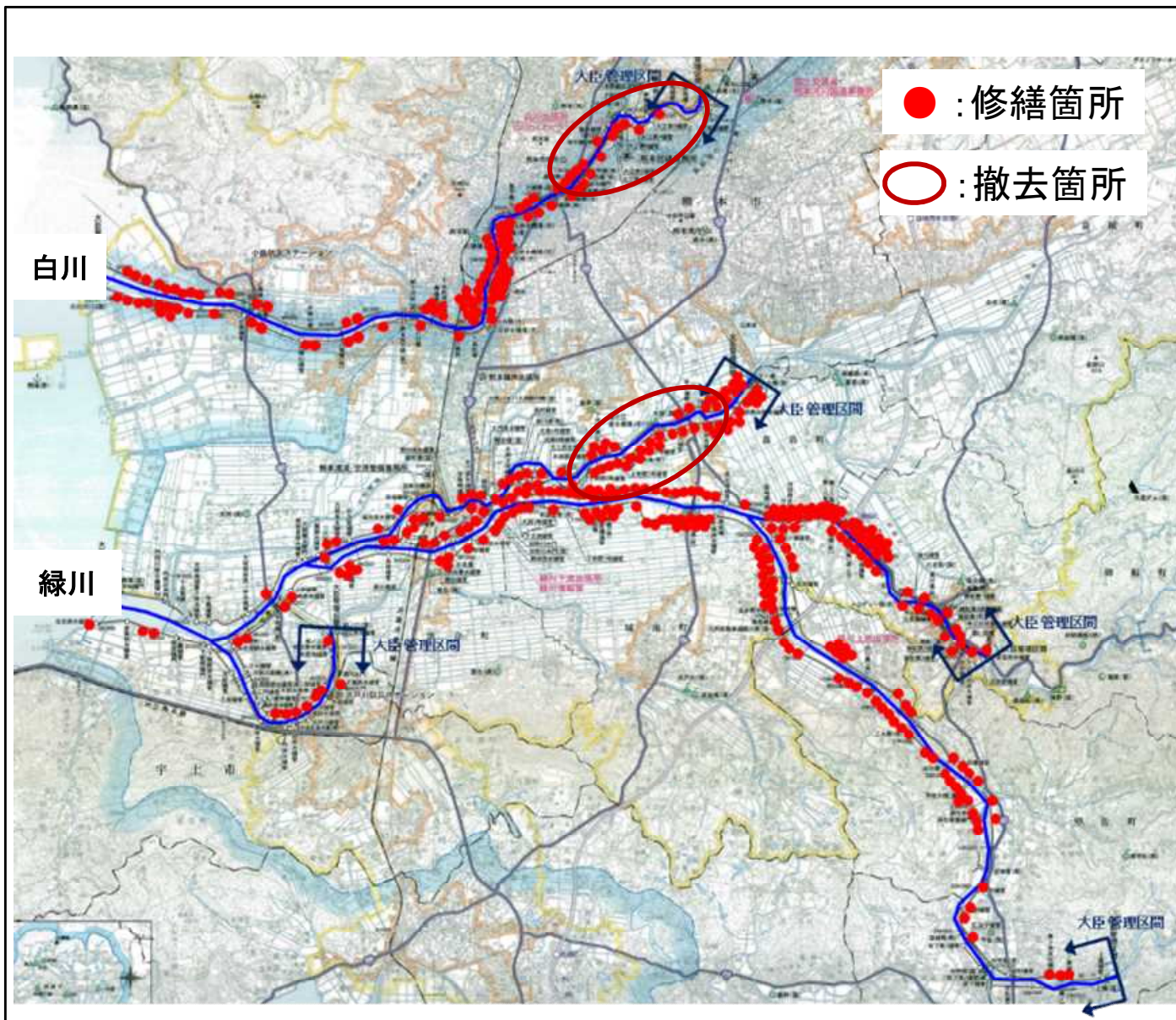
- ・漏水、覆工のひび割れ、変形等
- ・外力の影響の有無

法面点検



- ・切土の吹付け法面の亀裂、はらみだし等
- ・盛土の法面、法尻部の変状等

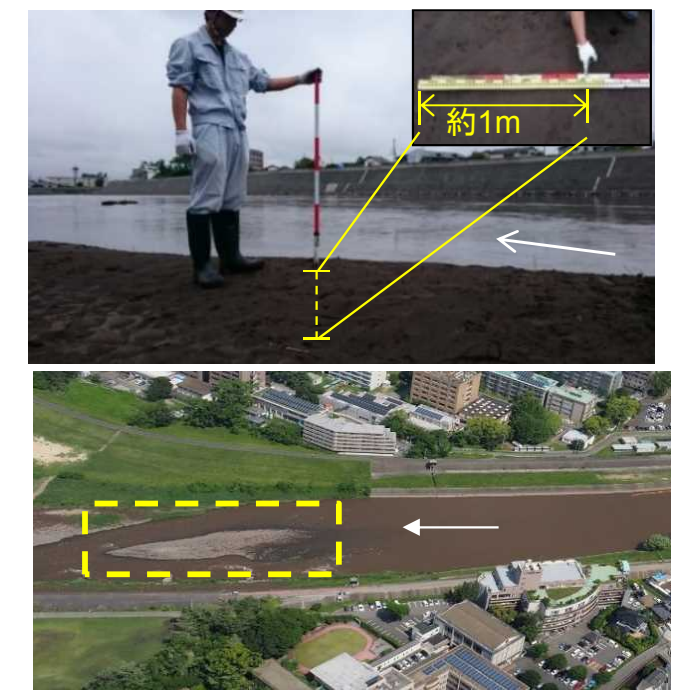
○緑川及び白川において、河川堤防等の修繕及び河道内の堆積土砂の撤去等を緊急的に実施



河川堤防等の修繕



堆積土砂の撤去



平成28年熊本地震により災害を受けた熊本港、八代港において、主要な港湾施設の健全度調査(土質調査、シミュレーション、対策工法の検討)を緊急的に実施する。

調査箇所

【熊本港、八代港位置図】



熊本港



八代港



港湾施設における健全度調査

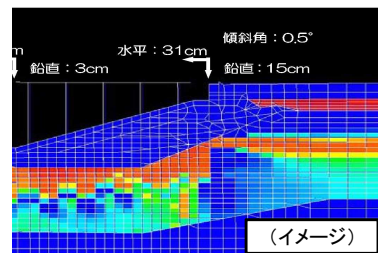
◇土質調査

・震災後の岸壁背後の土質の変状を調査。



◇シミュレーション

・震災時に構造物に作用した外力や岸壁の変状の検討を行う。



◇対策工法の検討

・調査結果等を基に、対策工法を検討

